

四十番地は末信太郎兵衛さんで、この図面の奥書に、氏の署名がある。

四十一は村上忠右衛門・四十二の一は村上市次郎・四十二の二は末信太郎兵衛さん・福田八左衛門・四十四番地は広大な敷地で吉岡藤左衛門さんである。

道の西側には、五十二の一番地に五十嵐五郎兵衛さん、四十九番地には松井長次郎さん、四十八番地は福田又兵衛さん、四十五番地には高塚市右衛門さんである。

吉岡さんと高塚さんの北側には西川まで通じた道が見えるし、百二十八番地の朝日安右衛門さんの地所を巡って水路が描かれているが目立つ、吉岡さんの北側にも水路があり、ここでも西側の耕地の地下水が溢れて西川に注いだ有様が伺われる。

この水路に沿って川畑長左衛門さんの家がある、子供の時にこの水路に水車が回っていたと聞いたことがあるが、本当の事なんだろうか。

道路に沿って、吉岡藤左衛門さんの地所がある、子供の頃、ここは草地で遊び場であった。

百十九番地は高塚文右衛門さんで、耕地を挟んで西側に森田次右衛門さん、北側は百二十七の一番地の高塚善次郎さんが住み北側には道路に沿って福田市郎平さん、西川の望んで明福利右衛門さん、西川に突き当たる道は「こうど」と呼んだ、洗濯場でおしめや時によっては野菜などの水洗い場であつたらう。

道路の西側は、西の畑地からの湧水を流した小川を挟んで「よ」番地

